

企業とのコラボレーションによる公益的取り組み ～ケアローンによる相談窓口開設～

社会福祉法人 晋栄福祉会（大阪府）

住 所 〒 571-0026
大阪府門真市北島町 12 番 20 号

T E L 072-881-8202

U R L home@chidori.or.jp

経 営 理 念 情熱を持ち行動する。
前進と振り返り、時には回り道も
あらゆる方法で、いろいろな方法で
よくコミュニケーションをとり、連携を
すべては地域の人々と自らの幸福と福祉のために

**事 業 内 容
及 び 定 員** 特別養護老人ホーム
(6 か所：50 床 3 か所、80 床 1 か所、100 床 2 か所)
ケアハウス (60 床 1 か所)
養護老人ホーム (指定管理 1 か所)
認知症対応型グループホーム (18 床 3 か所)
小規模多機能型居宅介護 (2 か所)
通所介護
訪問介護
訪問看護
居宅介護支援事業所
幼保連携型認定こども園
保育園 (6 か所)
保育所 (運営委託 2 か所)
小規模保育 (5 か所)
放課後児童クラブ (3 か所)
総合相談窓口 (3 か所)
老人福祉センター (指定管理 3 か所)
福祉有償運送
介護員養成研修事業

収 入 (法人全体) 平成 29 年度決算	①社会福祉事業	5,528,259,937 円
	②公益事業	45,013,115 円
	③収益事業	0 円

職 員 数 1,272 名 (非常勤含む)
(法人全体)

- 当 面 す る
経 営 課 題
- ・職員採用および継続的勤務の安定化
 - ・職員のスキルアップおよび意識向上
 - ・保育士の採用および管理者へのキャリアアップ
 - ・新規事業における該当物件の難しさ

企業とのコラボレーションによる 公益的取り組み

～ケアローソンによる相談窓口開設～

社会福祉法人晋栄福祉会



(晋栄福祉会の理念)

Do FOR OTHERS

- ・情熱をもち行動する。
- ・前進と振り返り、時に回り道もよし
- ・あらゆる工夫で、いろいろな方法で
- ・よくコミュニケーションをとり、連携を
- ・すべては地域の人々と自らの、幸福と福祉のために

(株式会社ローソンの企業理念)

私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします

介護×ローソン = ケアローソン

地域の皆さまが健康で安心して暮らすことができる社会づくりに貢献できるよう、介護事業者と連携し、シニアやご家族の生活健康をサポートします。



(2017)

- 2.20 当法人のメインバンクから、神戸にて今般、ローソンヘルスケア事業部の方が、ローソンで介護と健康の相談ができ、かつ地域の交流の場としてコンビニがより身近な場所となるよう、介護相談窓口を合体させた店舗を開設しようとされているとのことで、ぜひ、話を一度聞いてほしいと連絡入る。その後概要が届く。
- 3.1 介護相談窓口における定期建物転貸・併設物件につきローソンと協議する
- 3.2 行政窓口である宝塚市に介護相談窓口が居宅介護支援事業所のサテライトとして可能か問い合わせ行う。
- 3.9 行政にローソン担当者と呼ぶ。
ケアローソン開設予定地、ローソン内における介護相談窓口・サロンスペースについて説明を行う。兵庫県芦屋市において社会福祉法人が運営しているケアローソンの説明を行う。
行政からはサロンスペースに対する取り組みへの期待や地域における不安の解消になることが述べられ、また芦屋市のケアローソンに興味を持たれる
- 3.27 顧問弁護士に報告および「ケアローソンに関する覚書」・「定期建物転貸借契約書」のリーガルチェック、商標登録について相談する
商標登録はロゴと文字（漢字・ひらがな）をまた法人として介護・保育利用事業にわたり、使用できるようにし、区分を関連する複数で検討する必要性を指摘受ける。

(開設までの経過②)

- 3.30 ローソンと協議。宝塚市内に事業展開している施設・保育園等の距離から相談窓口として社会貢献ができることまたローソンとのコラボによる知名度が上がることを確認する。この段階で商標登録。営業時間等の確認を行う。芦屋市にあるケアローソンへの見学を予定する。
- 4.21 顧問弁護士より弁理士を紹介いただき、商標登録の申請行う。
- 5.25 顧問弁護士による1度目のリーガルチェック終える
- 6.9 芦屋市にあるケアローソン見学、ここでは地域包括支援センターとしての機能も果たしている。



- 10.25 ローソンと協議する。契約書の内容確認、営業時間等の確認、備品および管理上のルール決めを行う
- 11.9 ローソンと協議する。オープンに、受けての看板の設置・内覧会およびオーナーとの引き合わせについて
- 11.24 顧問弁護によるリーガルチェック終了。
- 11.29 特許庁より商標登録について「一部拒絶」の通知を弁理士より連絡あり通常の商標登録は完了する。再度一部拒絶分必要書類を用意し申請する。

(2018)

- 1.31 2月2日ケアローソンオープン予定が2月16日オープンへ変更となる。また、前日の2月15日に行政等への内覧会を行うこととなる。
- 2.15 行政および地域自治会・関係期間向け内覧会
- 2.16 ケアローソン「宝塚米谷ちどり」オープン

福祉の心アットサービス

"ケアローソン"ローソン宝塚米谷二丁目店 介護相談窓口

介護相談窓口では、皆さまの
介護についてのご質問やご相談の対応を行います。
また、皆さまがいつまでもお元気で過ごせるように、
日常生活に生かせる 情報をご提供します。

※ご相談費用はいただきません。

例えば…



(事業運営にあたり)

共に活動するために、看板や配布物そして、公共の場など目に触れることが多く
なるために、使用制限がかからないよう商標登録を行いました。

なお、登録商標は「ケアローソンに関する覚書」において「商標・商法の使用許諾」
によるものです。



(オープン時の写真)

平成30年2月16日にケアローソンとしてオープン



(事業内容)

営業日 : 月曜日から土曜日

営業時間 : 9:30~16:30

休み : 日曜日・年末年始

職員 : 営業時間内に必ず1名は配置



(サロンスペース)

ローソンのイートインスペースと共用。日常的にローソンで購入された飲食物をこのスペースで食べられます。学生からサラリーマン・子ども連れのお父さんやお母さん、そしてご高齢の方まで、幅広い方が利用されています。

この利用から繋がりが持てます。ふらっと初めて来店された方が、「介護相談窓口」の看板を見て声をかけられたり、子どもたちが気になって寄ってきてそこにお父さん・お母さんと交わるきっかけになったり、高齢の方々が友達同士お茶を楽しむ井戸端会議が、いつの間にか一緒に会話に加わり、日ごろの安否確認の一場面になったりと、それがサロンの役割の一つになっています。



(介護相談窓口)

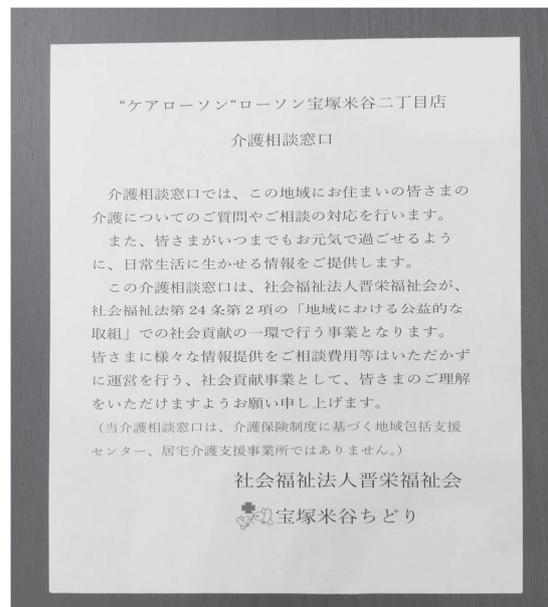
介護相談窓口は地域の身近な場所であるために、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所のような役割はせず、介護保険上の指定も受けていない純粋な相談窓口になっています。

予約も必要がないため、相談者にはローソンに来店された際に、看板を見て窓口に来られる方も多く、気軽に立ち寄れる雰囲気を目指しています。

実際に相談内容によっては別に相談室を設けていますので、そこでお聞きしたり、これから介護保険を利用される場合は、まずは地域包括支援センターへ繋いでいます。



(介護相談窓口の心得)



(健康相談)

介護相談窓口以外にも、健康と称して「電子血圧計」や「AGE sセンサー」を常時使えるように設置しています。特に「AGE sセンサー」は最終糖化産物をはかる機械で、年齢別に評価や順位が見られ、その結果食生活を変えられた方もおられ、良い意味で影響を及ぼすものとなっています。一度登録すると次回お越しいただいた際に継続的に結果が見られることもあり、健康のバロメーターとして相談の有無にかかわらず、活用いただき、定期的にお越しになり、利用される方もおられます。



(情報発信)

介護相談窓口では、地域の皆さまをはじめ、サロンのご利用者に様々な情報発信をしております。

行政による情報誌や啓蒙活動に関するもの、地域包括支援センターや社会福祉協議会から発信される情報や公の情報などが、この場にお越しただければ知ることができるように用意しております。

またこれ以外に、地元自治会関連の情報も掲示・案内しております。あくまでも中立的そして地域に特化した情報を取り揃えております



(イベント)

サロンスペースにおいて、イベントを行っております。

現在、宝塚市の協力のもと、毎週金曜日に「宝塚いきいき百歳体操」を行っております。直接の申込であるものの、申込者も増えており、限られたスペースの為、現在別の曜日の開催も検討しております。

また、理学療法士や作業療法士による「自宅でもできる体操」や他管理栄養士など専門職による講座などのイベントも不定期ではありますが開催しております。



(ローソンとの協働)

常日頃からローソンと店舗オーナーと三者会議を行っており、情報交換だけでなく、お互いの協力体制をはかっています。

これまで行ってきたイベントだけでなく、ローソン店舗のセール時には合わせてイベントを行い、お互いで盛り上げています。

また、今年の10月にはオーナーの要望により、3店舗のスタッフを対象に、地域包括支援センターの協力のもと、認知症サポーター養成研修を行います。年齢層の高い客層も増えてきておりそれに合わせたサービスを行うにスタッフの接客向上につなげたいとの思いから開催いたします。

また、店舗には軽度者向けの商品も陳列されています。



(kaisetumadeno 運営コスト)

支出のみ

賃料	¥ 57,240-	(消費税含む)
人件費	¥ 150,000~160,000-	
通信費	¥ 7,000~9,000-	

月々約 ¥210,000~230,000
のコストがかかります。

初期費用

敷金	¥ 150,000-
通信設置	¥ 35,000-
他 備品購入、商標登録関連費用	

(運営に関して)

居宅介護支援事業所のように介護保険上の指定を受けていないため、収入となるものは全くありません。

一方、支出においては毎月の賃料および光熱水費や通信費などの諸経費また人件費がかかり、すべてにおいて法人負担となります。

毎月の支出から負担額は大きいものの、社会福祉法人が求められる公益性としては、自治会はもとより行政や社会福祉協議会・地域包括支援センターと連携しつつ、一企業である株式会社ローソンと協働することにより幅広い行動ができます。

また、その公益性から、自ら立案し、実行に移すことができることにより、また、地元自治会とも連携し、制限なく自由な発想のもと、目に見える活動ができ、社会貢献できる場となっています。

今後は、行政はじめ地域包括支援センターとの連携の中、この地域の自立高齢者等の介護予防の拠点の一つとしてなりうることも、検討してまいります

(外観)

(法人ホームページより)

